

仕様書

I 調達物品名及び構成内容

(調達物品名) 高密度脳波計測システム 一式

(内訳)

1 高密度脳波計測装置

1-1	高密度脳波計本体	1 台
1-2	電極群	1 式
1-3	付帯部品類	1 式
1-4	開発用ソフトウェア	1 式
1-5	解析用ソフトウェア	1 式

2 その他 (搬入、据付、配管、配線、調整、耐震対策、保守、障害支援、教育サポート、応用サポートを含む。)

II 仕様

1 高密度脳波計測装置

1-1 高密度脳波計本体

以下の仕様を満たすこと。

- ・脳波計であり、脳波を計測可能であること。
- ・入力チャンネル数は、256ch 以上に対応すること。
- ・サンプリング周波数は、38,400Hz 以上が設定できること。
- ・A/D 変換 24bit 以上であること。
- ・アンプは DC アンプであり、DC 脳波を計測可能であること。
- ・電源は、AC または DC (バッテリー) 駆動に対応していること。
- ・トリガーは、デジタル入力 16ch 以上を有していること。

1-2 電極群

以下の仕様を満たすこと。

- ・電極は、アクティブ電極で 200 本以上有すること。
- ・アクティブ電極、パッシブ電極のいずれにも対応可能であること。

1-3 付帯部品類

以下の仕様を満たすこと。

- ・専用の脳波キャップがあり、脳波キャップは、S, M, Lサイズを有すること。

- ・既存のアクティブ電極、パッシブ電極に対応したヘッドボックスを有すること。

1－4 開発用ソフトウェア

以下の仕様を満たすこと。

- ・開発言語は、C/.NET, MATLAB, Python に対応していること。
- ・Simulink を用いた GUI ベースのプログラミングが可能であること。
- ・BCI 用の P300 model、SSVEP model、CSP model のサンプルソフトを有すること。

1－5 解析用ソフトウェア

以下の仕様を満たすこと。

- ・BCI サンプルソフトを活用可能な解析ソフトウェアを有すること。

2 据付設置作業

(性能、機能以外に関する要件)

(1) 設置条件等

ア 設置場所

本装置は、本学の指定する場所に設置すること。

イ 搬入、据付、配管、配線、調整、耐震対策

装置の搬入、据付、配管、配線、調整、耐震対策については、本学の研究に支障をきたさないよう、本学の職員と協議の上その指示に従うこと。また、搬入の際には供給者が立ち会い、本学の施設に損傷を与えないよう十分な注意を払うように努め、必要があれば納入経路に養生等を施すこと。また、万一、本学の建物・設備等に損傷を与えた場合は、供給者の責任において、原状に復するものとする。

ウ 本装置に必要な耐震対策を実施すること。

(2) 保守体制等

ア 保守体制

通常の使用で発生した故障の修理及び保守点検を実施できる体制であること。

イ 保証期間

納入検査確認後 1 年間は、通常の使用により故障した場合の無償修理に応じること。

(3) 障害支援体制

障害時において復旧のため通報を受けてから 8 時間以内に電話等により障害への

対応ができる体制であり、48 時間以内に技術者を障害復旧のために派遣できること。

(ただし、日曜、土曜、国民の祝日に関する法律第 3 条に規定する休日、本学の指定する日及び年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)は除く。)

(4) その他

ア 教育体制

導入時教育訓練: 本学の担当教員及び研究機器使用者に対する導入時教育訓練は、本学係員と協議のうえ行うこと。

ハードウェア教育: ハードウェアに対する教育は必要に応じて行うこと。

ソフトウェア教育: ソフトウェアに対する教育は必要に応じて行うこと。

イ 応用サポート体制

本学の担当教員及び研究機器使用者に対する最新技術の支援を本学係員と協議のうえ行うこと。

ウ 本仕様書に明記していない事項であっても、本機器を実現するために当然備えるべき性能については完備しているものとし、機器が正常に機能しなければならない。

エ 納入前に必ず本学担当者と打ち合わせをすること。また、この仕様書の内容に不明な点がある場合は、本学担当者の指示に従うものとする。

オ 検査の実施により、物品がこの仕様に示す内容にすべて適合していると認めたとき、納入が完了したものとする。

Ⅲ 納品場所

富山県立大学 中央棟 5 階 唐山研究室 (N-514)

Ⅳ 納入期限

令和 7 年 3 月 31 日 (月) 17:00